

IMJからのお知らせと祈りの課題

IMJ「心のサプリー④」オンライン 1/27(土) 13:30~16:30 開催

- トーク1:「どんな時に愛を感じるの?」 増田篤子師
 トーク2:「どうしてそう決めているの?」 ベネディクト恵湖
- トークの動画を見た後に、グループで分かち合い、祈りの時間があります。
 - 修了生の方もぜひ一度、ご家族、ご友人とご参加ください。未信者の方も参加できます。



*「心のサプリー」を開催、参加しませんか?

- 修了生の方は、個人でも教会でも心のサプリーを開催できますので、ご相談ください。
- 事務局開催のオンライン(Zoom)に、教会の方、未信者の方とも一緒に参加できます。
- 教会ごとに集まって、トークはオンラインで、グループは対面(少人数)でも参加可能です。
- 教会単独で開催の場合もスタッフがお手伝いします(オンライン&対面)。

* 推進しもべ会(わらい) 2月8日(木)~9日(金) 2024年の方針、予算を決めます。お祈りください。

祈りのミニストリースクール、その他の予定表(2024年1~5月)

◇ 札幌オンラインスクール 基本コース C 札幌市	1/10(水)~11(木), 17(水)~18(木) <平日> 1/13(土)~14(日), 20(土)~21(日) <土日>	
◇ 練馬グレースチャペル 基本コース B 東京都	2/2(金), 9(金), 14(水), 28(水) <平日> 2/3(土), 10(土), 17(土) <土曜>	
◇ 活バジ ヨン・グローリーチャーチ 基本コース C 横浜市	4月末~5月 予定	
◇ 本郷台キリスト教会 基本コース A 横浜市	4月末~5月 予定	
◇ IMJ「心のサプリー④」オンライン	1/27(土)	* ホームページから事前に参加申し込みができます。
◇ IMJ「心のサプリー①」オンライン	2月	2024年2月より また①がスタートします。

* IMJの働きのために、以下のサポートをお願いいたします。

- 会報に事業者の広告を掲載(一件 10,000円、広告 10件募集)
 - 毎月定額の献金(パートナーシップ献金) 郵便振替口座: 祈りのミニストリー・ジャパン
- * ホームページからクレジットカードでも献金できるようになりました。こちらから ➡



※パートナー教会と推進メンバー、IMJ月間献金などをお捧げくださった方のお名前(2023年7~10月)(敬称省略)
 (教会) グレースコミュニティ、桐生キリスト教会、本郷台キリスト教会、熊本ハーベストチャーチ、大津バプテスト教会、練馬グレースチャペル、エブリネーションチャーチ横浜、静岡サミル聖書教会、日之出キリスト教会、南紀キリスト教会、横浜ニューライフバプテスト教会。

(個人) 秋山和男・正子、松田由美子、新野吉男、月井 博、江口編子、下 令子、庄司 歩、星 なお子、岸本雅美、中山 務、広野和子、瀬川久代、宮腰貞子、松島美代子、ダイアン・ジョーダン、広野和子、内山あす香。

♥ 尊い献金を心から感謝いたします。

祈りのミニストリー・ジャパン会計報告(2023年1~10月)

スクール・心のサプリー・祈りのミニストリー	2,048,165
パートナーシップ献金・IMJ月間献金・特別支援献金	2,837,098
書籍・オーディオ販売代、他	144,672
収入合計	5,029,935
交通費・宿泊費(スクール・基礎講座・心のサプリー、他)	89,178
スクール・セミナー教材作成(撮影・テキスト)	456,890
人件費・ミニストリー謝礼・出張費	4,597,100
会報・広告・事務・通信・管理・積立	606,080
書籍・オーディオ購入費、その他	1,080
支出合計	5,750,328

(収入-支出 = -720,393)



祈りのミニストリー・ジャパン

電話&FAX: 011-215-7258

elijahhouse@infoseek.jp

ホームページ: www.ehj.jp

〒006-0832

札幌市手稲区曙2条2丁目 4-22-102

郵便振替口座番号: 02720-3-50871

口座名: 祈りのミニストリー・ジャパン

発行責任者: 益田 良一(グレースコミュニティ)

会報

祈りのミニストリー
ジャパン

『見よ。わたしは、主の大いなる恐るべき日に来る前に、預言者エリヤをあなたがたに遣わす。彼は、父の心を子に向けさせ、子の心をその父に向けさせる。それは、わたしが来て、この地を聖絶の物として打ち滅ぼすことのないようにするためである。』 マラキ書 4:5, 6

2023年12月

No.52

スクールの恵み イエス様と出会う時



練馬グレースチャペル
スクールファシリテーター
松田由美子

「人の心には多くの思いがある。しかし、【主】の計画こそが実現する。」(箴言19章21節)

ハレルヤ! 主の御名を賛美いたします。

2019年に「祈りのミニストリー・トレーニングスクール コース I A」を始めたところでコロナが始まり、対面でのスクールにこだわる練馬では今回4年ぶりのスクール再開となりました。

内容もリニューアルされ、「祈りのミニストリースクール 基本コース A」から開講することにいたしました。教会メンバーも新しい方が増え、スクールを開講しようと志を与えられたのですが、思いもよらない所から受講希望者が来て、まさしく、「【主】の計画こそが実現する」ことを見せられました。

グループタイム最初のソーキングタイム(主の愛に浸る時)で、皆さんを愛する主の愛が迫ってきて、受講されるお一人おひとり愛するその愛に涙が流れました。

リニューアルされた基本コースAは講義数も減り、余裕を持ったプログラム構成にすることができました。内容も分かりやすく、ポイントはしっかりおさえていましたが、初めての受講生にとって、講義を一度見ただけでは、十分理解するのはとても大変だと口々に話されていました。

グループタイムの深いミニストリーの中で、受講生の方々がイエス様と出会う時がありました。

ある方はひとりぼっちでテレビを観ていた横にイエスさまと一緒に笑いながら観ていたり、ある姉妹はイエスさまにおぶられて、家族を起こさないようにと抜き足差し足で歩くイエスさまに笑ってしまったりと、概念ではない、肉体を持ち、体温を感じられるイエスさまに多くの方が出会っていました。

誰にも理解されないと考えていたけれど、イエスさま御自身が皆から理解されず、愛する弟子も離れ、天のお父さまからも見捨てられたことによって、自分の思いを理解してくれていたことを深く実感し、涙を流しながら祈る方もおられました。



感謝会では証の中で「そこだったの?!」という言葉が多く聞かれ、聖霊さまの働きに皆さんが驚かされていました。本当に恵みの多い時でした。

皆さまのお祈りに支えられ、無事スクールを終えることができたこと、心から感謝いたします。

全ての栄光を主におかえしいたします。

スクールの恵み 練馬グレースチャペル

私の居場所 自分のアイデンティティの平安

私は日本に生まれ、宣教師家族の3代目として埼玉で育ちました。10代の頃、アイデンティティについて多く悩みましたが、自分の国籍は天国にあると心に刻み、その後も日本での生活を続けました。

しかし、社会人になり、外国人扱いされる経験が増え、自分のアイデンティティに疑念を抱くようになりました。日常的に「出身はどこですか?」と聞かれ、「埼玉です。」と答えても、「お国はどちらですか?」「日本です。」「ご両親のお国は?」といった会話が続き、自分を受け入れてもらえていないと思っていたことに悩みました。

東京オリンピックの開催間近に伴ってか、お店で英語メニューを無言で出されるようになり、また母国語の日本語が褒められることに戸惑いを感じました。そのままの自分を受け入れてほしいと思うようになりました。

2023年春、会社の本社がイギリスにあるということもあり、自分の国籍があるイギリスに行くことを決意しました。自分はやっと周りに溶け込んで、受け入れてもらえると言う一種の期待を抱いて日本を発ちました。

海外生活は幼少期に家族でアメリカ2年間、後に大学時代のアメリカ留学1年間、ニュージーランド留学(母の国)、そして会社のソウルオフィスでの経験がありましたが、イギリスに住むのは初めてでした。

実はイギリスに初めて行ったのも大人になってからで(21歳)、その時も、国籍があるだけで本当の母国ではないと感じていましたが、今回は異なる視点を得られるのではないかと思います。

しかし、ロンドンに着いてから体調を崩し、期待と異なる生活が続きました。そんなある日、日本人コミュニティの掲示板で購入した掃除機をある女性が届に来てくれました。彼女は英語で私に話しかけましたが、私が日本語で答えると、「宣教師の子供?」と

聞いてきました。彼女もクリスチャンで、後日お茶をしていたときに22年前に大阪で祈りのミニストリースクールを受けた第1期生ということを知りました。

私の親も関東で祈りのミニストリースクールを15年前に受けていたものでいずれは受けてほしいなあとお親に言われつつも、「私はまだ良い」と思っていました。しかし、この女性と出会い、祈りのミニストリースクールに行くことがなんらかの答えを得る機会だと感じました。

2023年9月に一時帰国した際に、翌日から始まる(時差ボケしながら)練馬グレースチャペルでの祈りのミニストリースクールを受けることを決めました。

祈りの中で、小学校時代の経験が私のアイデンティティに与えた影響に気づかされました。先生たちから感じるわずかな差別が私の心に傷を及ぼしたことを知りました。



しかし、祈りのミニストリーを通して、自分が日本に居ることを肯定し、自分のアイデンティティに平安を持つようになりました。そして、「神の子供」という言葉に新たな意味を見出し、私はどこにいても居場所があると感じ始めることができました。

Holy Trinity Brompton, London
アリーシャ・トムソン



サラクリニック
産婦人科
院長 菊地 紫津子

〒232-0024 横浜市南区浦舟町 4-47-2
メディカルコートマリス 3F
TEL(045)260-6620 <http://www.sarah-clinic.com>

スクールの恵み 練馬グレースチャペル (続き)

父の笑顔 新しい親子関係

私は、退職してこれからは、更に神様と深く交わり仕えていきたいと思い、「祈りのミニストリースクール」を受講しました。私は、父を愛せず、何故か赦せませんでした。子供の頃、一緒に遊んでくれたり、楽しい思い出はなく、頭に浮かぶのは、淡々と働く父の姿でした。

母が亡くなってから父と同居し、田舎からお墓を移すことになりましたが、父の勝手な言動でお寺とトラブルになり、叔母夫婦と私、そして妹が労して何とか移すことが出来ました。

その時、父との口論が絶えず、私は、増々父を拒絶するようになり、父から「ありがとう」という感謝の言葉もなく、もう父には期待しないと諦めて心を閉じました。私は、父に愛されていないと思い、そんな父を愛せず、赦せない自分に苦しんでいました。

祈りのミニストリーを受けて、父を赦せず、拒絶する「苦い根」は、母に対する父の言葉や態度に反応したものと分かりました。

弟は5歳の頃、高熱からてんかんの発作を起こし、知的障害者になりました。父は、その時、「おまえのせいで、〇〇がこうなった!」と愛のない、突き放す言葉で母を責めました。その時の母の涙、辛さ、苦しみが私の中で父への怒りとして残りました。

父に愛されていない。だから父を愛せないと「苦い根」となり、その幹から「愛のない実」が、父への感情となったことがわかりました。



祈りのミニストリーの中で、主は、父を愛せず、赦せない心に触れてくださり、今までしてきた父への悪い態度や言葉が罪であると認識し、主に告白して悔い改めました。

そして、「苦い根」を十字架につけて死んだものとみなし、父を赦すことが出来ました。また、父が母を今まで傷つけてきたことを赦し、その罪に対する咎めや攻撃する権利を放棄しました。人を裁くことがお出来になるのは、神様だけだからです。

私は、施設にいる父に面会に行き、愛のない行いを謝りました。父は、「気にしない」と言い、私が「育てて養ってくれてありがとう」と伝えると嬉しそうに昔の話を始めました。その時、父が笑いました。私は、父の笑顔に初めて気づき、可愛くて愛しいと思いました。

これからは、新しい親子関係の歩みを喜び楽しんで、主に仕えていきます。神様が最善の時に御取り扱いださり、父と和解できた恵みに心から感謝いたします。

清瀬グレースチャペル 中橋 茂子

IMJしもべ会リトリート

10月16日(月)から18日(水)まで、北海道小樽市で、祈りのミニストリー・ジャパンしもべ会のリトリートが行われました。3年ぶりに、しもべの先生とスタッフが対面で集まることができました。

ご夫妻で参加された方々も多く、主にある幸いな交わり、温泉やおいしい食事など北海道の豊かな自然を満喫しました。そして、ミーティングでは、IMJの将来のビジョンなど話され、更にIMJとして前進していくために互いに祈り合い、祝福された時となりました。

今回は、グレースコミュニティからの献金によってリトリートを行うことができました。心より、感謝いたします。

